

&lt;10月23日開催&gt;

## 「緑のテーブル」メディア向け説明会のご案内

平素より大変お世話になっております。

スターダンサーズ・バレエ団では、2020年3月に「Dance Speaks -ダンスは何を語るのか。-」と題した公演を開催し、クルト・ヨースの不朽の名作「緑のテーブル」を再演いたします。

本公演は、今年3月に行った同公演に対する反響を受け開催が決定したアンコール公演となります。「白鳥の湖」のような古典バレエと比べて売りにくいと言われる現代バレエ作品でありながら、前回最終公演のチケットは完売。再演を望む声が続々と届き、その反響の大きさに、初演から80年以上が経ってもなお色褪せないテーマの普遍性と、バレエファンに留まらない幅広い層の方々の心に訴える芸術性を再認識し、今回のアンコール公演を実施する運びとなりました。

当団は、日本で唯一「緑のテーブル」の上演を許可されたバレエ団として、1977年の初演以降上演を重ねてまいりましたが、本作の上演条件の厳しさから、近年では1994年、2005年、そして前回の2019年と、10数年に1度の頻度での上演に留まり、日本のお客様にその魅力をお伝えしきれずにおりました。今回、短いスパンでの再演が叶ったことで、「緑のテーブル」の魅力を広くお伝えする機会と捉え、メディアの皆さまに対する説明会を開催いたします。

「緑のテーブル」が舞踊史に燦然と輝く金字塔と評される理由、第一次世界大戦後のドイツで本作を振り付け、天才舞踊家ピナ・バウシュが師と仰いだクルト・ヨースという人物、そしてその上演に課された条件など、「緑のテーブル」を多角的にご紹介するとともに、舞台映像の一部をご覧いただきます。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

今後来年3月の公演まで、10月28日には事前解説イベント「緑のテーブル」講座を、12月には東京芸術劇場アトリエーイストにて舞台写真等を展示する「緑のテーブル」展を開催し、各種イベントを通して本作の魅力発信に努めてまいります。取材等のご依頼は随時受け付けておりますので、何卒ご検討くださいますようお願い申し上げます。

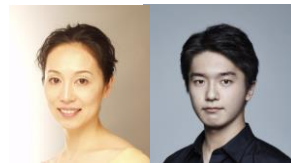
## 「緑のテーブル」説明会

- 日時・場所 2019年10月23日（水）15:00～16:00（14:45～受付開始）  
スターダンサーズ・バレエ団スタジオ  
\* 東京メトロ銀座線外苑前駅4a出口徒歩3分  
（〒107-0062 東京都港区南青山2-22-4 秀和南青山レジデンス1階106号室）  
MAP▶ <https://www.sdballet.com/company/>



Photo: Kiyonori Hasegawa

- スピーカー 小山久美（スターダンサーズ・バレエ団総監督）  
池田武志（スターダンサーズ・バレエ団ダンサー／「死」役）
- 内容
  - ・ 振付家クルト・ヨースについて（ピナ・バウシュとの関係性）
  - ・ 「緑のテーブル」とは（映像を交えながら）
  - ・ 出演者の声（ダンサーの視点から）
  - ・ 質疑応答



\* 国内で唯一保管されている1930年代の「緑のテーブル」公演プログラム原本や、実際に使用される小道具の展示も行います。

- 定員 30名（先着順）
- 参加申込 下記リンク先の参加申し込みフォームよりお申し込みください。  
[https://www.sdballet.com/2003\\_dancespeaks\\_eventform1023/](https://www.sdballet.com/2003_dancespeaks_eventform1023/)  
（入力事項：お名前、ご所属、媒体名、ご連絡先、撮影機材の有無、ご質問）

**お申し込みは10月18日(金)18時まで**

但し、定員に達し次第受付を終了いたします。

フォームはこちらから

